



かこう なん 河口せきって何のためにあるの

かいすい ぎゃくりゅう ふせ 海水の逆流を防ぎ、いろいろな用水を得るため

かわ かこうぶぶん
川の河口部分にある「せき」を、「河口せき」といいます。

このせきは、まず、河口から 逆流する海水を、防ぐ目的があります。海水が 逆流して、川から田んぼに塩分の強い水が入ると、農作物がかわれるなどの被害（塩害）を受けます。

つぎ としようにすい のうぎよう
次に、都市用水や農業のためのかんがい用水を、手に入れることを目的としています。

とねがわ かこう やく
利根川では、河口から約20キロメートルさかのぼった地点に、とねがわかこう
ねんかんせい すいもん なら
(1970年完成)があり、水門がずらりと並んでいます。

ながらがわかこう 長良川河口せき

のうびへいや なが ながらがわ かこう つく
濃尾平野を流れる長良川にも、河口せきが造られました。この河口せきは、さいしょ かいすい
ぎゃくりゅう ふせ
逆流を防ぐせきとして建設することが検討され、その後、河口せきとして工事が進められ、
1995年から使われました。

この河口せきの建設の目的は、大規模な川底のしゅんせつを可能にして、かのう こうずい あんぜん うみ
に流れさすこと、かわぞこ
川底をほることによって新たに生じる塩害を防止すること、としようにすい
すいどうようすい こうぎょうようすい しゅすい かのう みずぶそく すい たい みず あんていきょう
(水道用水・工業用水)の取水を可能にすること、水不足(かっ水)に対し、水の安定供給を
きゅう はか じ かわ すす のうびへいや ちかすい あ
図ること、地ばんちん下の進んでいる、濃尾平野の地下水くみ上げの、かわりの施設に
することなどです。

しかし、この河口せきに対して、ちすい せいたいけい まも うえ けんとう かだい
治水や生態系を守る上で、検討すべき課題があるといわれ、
おほ いけん だ はな あ つづ
多くの意見が出され、話し合いが続けられています。(監修・保岡 孝之)

